

今年で20年目！  
北檜山ライオンズクラブ「もちつき会」

Koho - kenbunroku



北檜山ライオンズクラブ（山下豊会長）は、一足早い正月気分を味わってもらおうと、12月7日（日）、特別養護老人ホームきたひやま荘で「もちつき会」を行いました。このもちつき会は、毎年この時期に行っており、今年で20年目。会員20人が参加し、同荘の入所者や生活支援ハウスの利用者ら約40人が見守る中、きねを振り上げ、もち米を4升分つき上げました。もちは早速、あんこもちにして振る舞われ、皆さん笑顔で味わっていました。

同クラブは、使わなくなった眼鏡を回収し、発展途上国の人たちに贈る「中古眼鏡のリサイクル」への協力を呼び掛けています。途上国では眼鏡が手に入りやすく、視力を矯正できず不便を強いられている人が大勢いることから、“身近な国際貢献”として取り組んでいます。回収する眼鏡は大人用や子供用、近視や遠視、レンズの度数、サングラスも含めどんな種類でもOK。回収箱は、役場本庁や北檜山郵便局、渡島信用金庫北檜山支店、北檜山町農業協同組合金融店舗の4ヶ所に設置しています。



編集後記

▼今年の干支は、十二支一番目の「うし」。これまで新年号の表紙は縁起物の干支を題材に手づくりシリブズを続けてきましたが、せたな町には牛が3,000頭以上もいることから、今回の表紙は本物の牛にしてみました。モデルに選ばれたこの牛は、牛年の高橋さん（瀬棚区）が育てている生後2週間の赤ちゃん。ミルクを飲むシーンを撮影しようとしたところ、あっという間に飲み干されてしまい、戸惑っているうちに撮影が終了してしまいました。その時撮影したのがこちらです。



とても可愛いく撮れたのですが、軍手が残念な結果に…。そこで、もう一度やり直しをさせて頂きました。高橋さんには、2度もご協力を頂いて本当にありがとうございました。本年も皆さまにとって笑顔あふれる良い年となりますようご祈念申し上げます。共に、「広報せたな」をどうぞよろしくお願いたします。  
（黒澤・藤谷・稲船）

